

❄️冬休み❄️ はせやまの風

舞鶴市立新舞鶴小学校だより

令和5年12月22日発行

白糸中学校区「目指す子ども像」

自ら学ぶ子・人とつながる子

心も体も鍛える子・ふるさとを愛する子

H P : shinmaizuru-maizuru.edumap.jp



一年を振り返って、ぜひお話しを



1日で最高気温が10度も下がった12月の中旬、子どもたちの服装が一気に冬モードになり、温かそうな上着や手袋を着けて登校してきました。息を吐くと白い息。低学年の子どもたちが「なんで白くなるんやろう。」と不思議そうに話している声が聞こえます。「なぜだろう。」疑問を持って友達と話をする中で、きっと「調べてみよう。」とか「それはね。」とか、興味が広がっていくのでしょう。教室での朝の会のスピーチでも、子どもたちが興味を持ったことを本やインターネットで調べて発表する様子が見られます。初めて知ったこと、驚いたことなどを教室のみんなに紹介する姿はとても素敵です。タブレットを使って発表する様子も多く見られるようになりました。きっと、おうちの方にも尋ねながら、調べているのでしょう。支えていただいております。

2学期が終了しました。79日間、たくさんの行事があり、子どもたちのたくさんのがんばりを見ることができました。それぞれの行事に向けて、子どもたちは仲間とともに一生懸命練習し、達成感を感じていました。今年は、制限を緩和して行事を行いました。特に校内笑顔音楽会では、4年ぶりに全校児童が体育館に入り、それぞれの学年の発表を、身を乗り出すようにして見たり聞いたりしている子どもたちの姿を見ることができました。保護者の皆様、地域の皆様には、それぞれの行事に大勢ご参観いただき、温かく見守っていただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

12月14日には低学年と高学年に分かれて人権旬間のまとめの集会を行いました。それぞれの学級で人権旬間に学んだこと、話したこと、取り組んできたことなどを交流しました。「あったか言葉」を増やす掲示物づくりや遊びながらさらに友達のことをよく知って、仲良くなろうと取り組んだ全員遊びなど、自分のことも友達のことも大切にしようとして取り組んできた様子をどの学級の代表も堂々と発表していて、感心しました。さらに、それらを聞いての感想交流の時間には、たくさんの手が上がり、それぞれが発表を聞いて感じたことや考えたことを話す様子を見て、子どもたちが人権について向き合っていることにうれしくなりました。ある子が言いました。「人権旬間だけでなく、いつもあったか言葉を使おうと思います。」思いやりの気持ちを大切に子どもたちを育てていきたいと改めて感じました。あったか言葉やあいさつを通して、温かい人間関係づくりをしていきたいと思います。



さて、明日からの冬休み、クリスマス、大晦日、お正月など、ご家族で過ごされることも多いことでしょう。普段からゲームやスマホ等に費やす時間が多くなりがちな子どもたちですが、家族がそろそろ時期だからこそ、たくさん話し、一緒に体を動かしていただければと思います。今年一年を振り返って、「ありがとう。」「がんばったね。」と家族で話すことができると素敵ですね。きっと子どもたちは「来年もがんばろう!」とやる気と勇気が出ることでしょ



令和5年も、保護者の皆様、地域の皆様には、本校教育活動にご理解・ご協力いただき、本当にありがとうございました。皆様、よいお年をお迎えください。

校長 小森昌子